



「からふる」は、千歳市の特色ある教育や学校の取組を広く紹介するために、年4回発行する季刊紙です。子どもたちや学校にはそれぞれの特徴があります。その個性がさらに色鮮やかに輝いてほしいという願いを込めて「からふる」と名づけました。

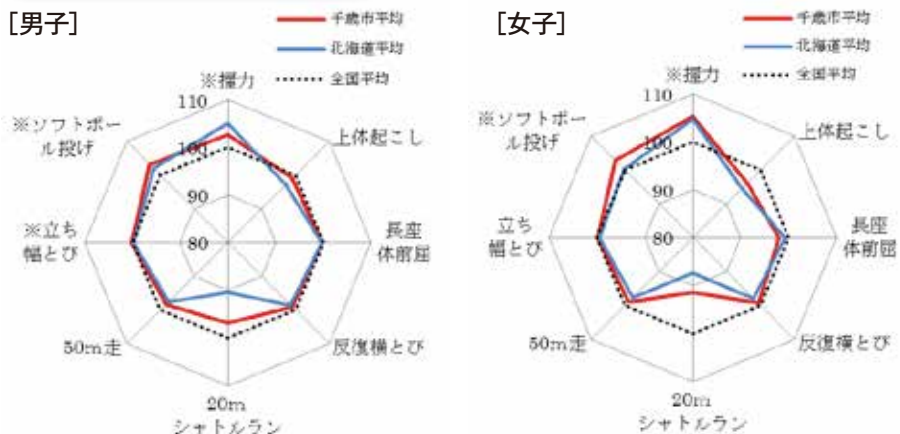
平成28年度「全国体力・運動能力、運動週間等調査」の結果

- 調査対象…小学校第5学年及び中学校第2学年 小学校17校 883名 中学校9校 890名
 - 調査の内容…実技に関する調査、運動習慣・生活習慣等に関する質問紙調査、子供の体力向上に係る取組等に関する質問紙調査
 - 調査実施日…平成28年4月から7月末までの期間で実施
- 【各種目の状況】
※全国平均を100とした時の数値をレーダーチャートで表示



【小学校(実技)】

男子は全国とほぼ同様で、女子は前年度よりも上回った。全国を上回った種目は男子で3種目、女子で2種目。



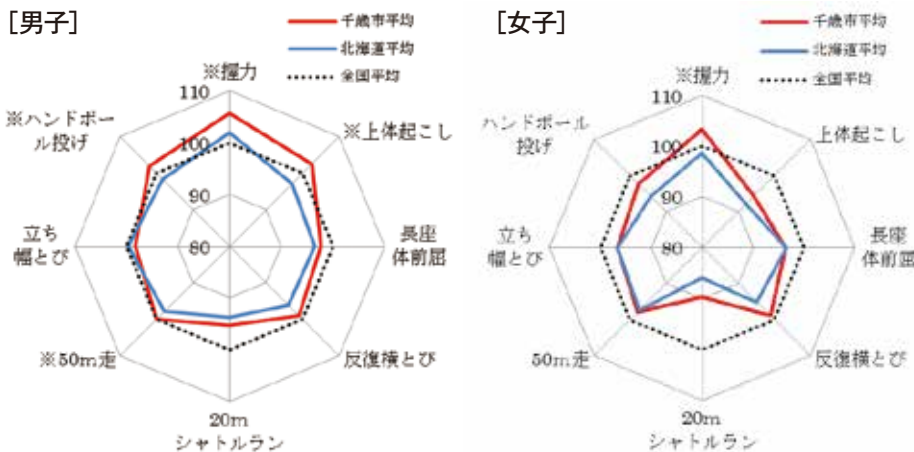
【体力合計点】(男子/女子)

	H27		H28	
千歳市	53.88	53.87	53.84	54.84
北海道	52.67	53.56	53.01	54.04
全国	53.80	55.18	53.92	55.54

体力合計点では、男子は全国とほぼ同様となりましたが、女子は0.7ポイント下回りました。前年度と比較すると、男子は0.04ポイント下回り、女子は0.97ポイント上回りました。
※種目別では、全国を上回ったのは、男子で握力・立ち幅とび・ソフトボール投げの3種目、女子で握力・ソフトボール投げの2種目。

【中学校(実技)】

男子は全国と同様で、男子・女子ともに前年度より体力合計点が上回った。全国を上回った種目は男子で4種目、女子で1種目。



【体力合計点】(男子/女子)

	H27		H28	
千歳市	41.80	45.99	42.15	47.31
北海道	40.10	44.83	40.49	45.72
全国	41.89	49.08	42.13	49.56

体力合計点では、男子は全国を0.02ポイント上回りましたが、女子は2.25ポイント下回りました。前年度と比較すると、男子で0.35ポイント、女子で1.32ポイント上回りました。
※種目別では、全国を上回ったのは、男子で握力・上体起こし・50m走・ハンドボール投げの4種目、女子で握力1種目。



平成29年度主な教育施策(案)の概要

平成29年度の教育予算(案)は、総額34億6千8百万円で内訳は下記グラフのとおりです。
『未来への飛翔・すべては子どもたちのために』を基本とした教育施策を一層推進します。



習熟度別少人数指導、家庭学習の推進など、学力向上に向けた取組を進めます

小学校13校に配置している「**学習支援員**」を増員するとともに、**新たに中学校にも配置**し、習熟度別少人数指導の充実を図ります。また、家庭学習の推進と規則正しい生活習慣の定着を図るため、**学力向上に向けた啓発パンフレット**を作成し、児童生徒と保護者の共通理解を図り、学力向上の取組を進めます。

- ・学習支援員 小学校:14人→18人
中学校:新規4人



『子ども110番の家』マップを作成します

不審者による事件・事故などから子どもを守り、児童が安心して登下校できる通学路の確保と、学校外での活動の安全・安心を確保するため、市民団体との協働事業により、民家や事業所などに設置している**緊急避難所「子ども110番の家」**の拡充を図るとともに、校区ごとに緊急避難所を掲載した**安全マップ**を作成し、全児童に配布します。



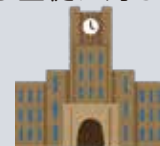
ICT機器を活用した教育を推進します

小中学校では全普通学級などに配置した電子黒板、実物投影機等のICT機器を活用した授業に取り組んでいます。平成29年度は、**小学校では理科室や音楽室等に、中学校では音楽室や美術室等の特別教室等にICT機器**を配置します。

奨学金の交付枠を拡大します

学習に対する意欲と能力があるにもかかわらず、経済的な理由によって修学が困難な学生及び生徒に対し交付する**給付型奨学金の交付枠を拡大**します。

- ・交付人数 高校生:45人→60人
大学生:20人→25人



屋内運動場の天井・照明などの耐震化工事を進めます

平成26年度から小中学校の屋内運動場の**非構造部材(天井材、照明器具、バスケットゴールなど)の耐震工事(落下防止対策)**を計画的に進めています。平成30年度には全小中学校の工事が完了する予定です。

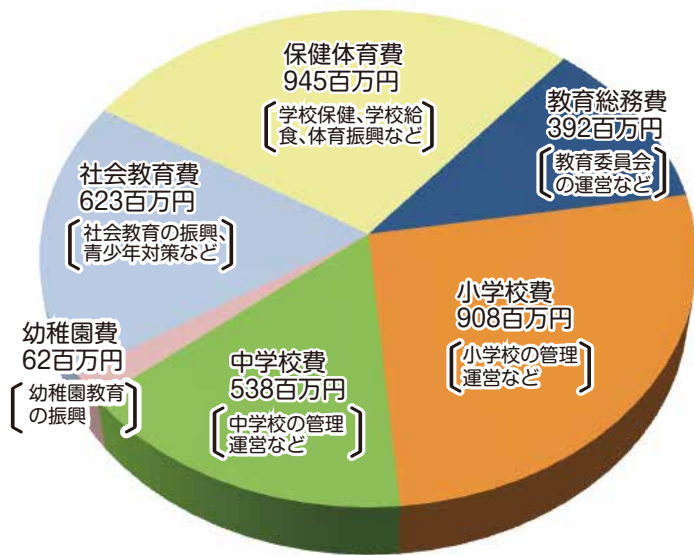
- ・平成29年度耐震化工事:小学校6校
・平成29年度実施設計:小学校3校、中学校2校

コミュニティ・スクールの導入に向けた取組を推進します

保護者や地域の意見等を学校経営に反映し、学校・保護者・地域が協働しながら、子どもたちの豊かな成長を支える**コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の調査研究**を行うため、モデル校3校を指定し、導入に向けた検討を進めます。

- ・モデル校:高台小学校、青葉中学校、駒里小中学校

平成29年度の教育予算(案)の内訳



【歳出合計:3,468百万円】

新学校給食センターの整備に向けた調査検討を進めます

現学校給食センターが抱える諸課題を解決し、より安全・安心でおいしい給食を提供するため、新学校給食センターの整備に向けた調査や検討を行っています。平成29年度は、**整備に関する基本構想を策定**します。

小中学校司書の配置時間を拡大します

図書の分類整理や配架、選書などの学校図書館の運営支援を行う**学校司書を増員**し、司書教諭や図書館担当教員と連携して、読書環境の充実、授業や調べ学習における学校図書館の活用の推進を図ります。

- ・配置時間の拡大:1校当たり平均123時間の増
(1校当たり平均約20日の増)

学校の特色ある取組を紹介します！



千歳小学校

サンドレイク小との交流 ～互いの文化を理解～

千歳小学校では、平成6年から、姉妹都市であるアンカレジ市のサンドレイク小学校と交流をしています。訪問と受入れを隔年で実施。平成28年度は受入れの年で、6月にサンドレイク小学校訪問団一行(児童29名、保護者12名、教員4名)が来校しました。サンドレイク小学校は日本語のイマージョン・プログラム※1が行われている学校で、日常的に日本語を話し、日本の文化についても学習しています。そのため、日本に対する興味・関心が大変高く、滞在中は一緒に授業を受けたり、給食を食べたり、運動会にも参加したりして、充実した毎日を過ごしました。千歳小学校の子どもたちにとっても、習った英語を試したり、異文化を学習したりする貴重な体験となっています。

※1 通常の授業を外国語で行うことにより、外国言語を身につける学習方法



習字体験



徒競走の練習



駒里小中学校

交通安全キャンペーン ～駒里野菜と心で命を守る～

駒里小中学校では、児童会・生徒会が中心となって、毎年9月に「交通安全キャンペーン」を行っています。この取組では、小学校1年生から中学校3年生までの児童・生徒が、天候や生育状態を気にしながら力を合わせて育てた野菜に、手作りのメッセージカードを添えて、学校前を通過するドライバーの方々に手渡しています。昨年度は「枝豆」、今年度は「カボチャ」をドライバーの方々に手渡しました。

昭和60年から行っているこの取組も、千歳警察署をはじめ、地域の方々や保護者の皆様の協力をいただき、今年度で32回目となりました。多くの方々から「ありがとう」のお言葉をいただき、写真やお手紙を送って下さる方もいます。「駒里小学校開校110周年、駒里中学校開校60周年」の記念の年、多くの人達との貴重なつながりを大切にしながら、「命の大切さや生命の尊さ」を実感し、地域と共に交通安全に努めています。



野菜を手渡しする様子



北斗中学校

地域の方々とともに ～北斗ふれあいサークル～

北斗ふれあいサークルは、平成8年石狩教育局の指定を受け「生涯学習社会を見据え、家庭・地域・学校が一体となり、ふれあうこと」を目的にスタートし、今年度21年目を迎えます。地域の方々を中心に事務局を組織し、部活動未加入者の「茶の湯サークル」をはじめ、いろいろな講座で生徒と地域の方が一緒に活動をしています。地域支援本部事業からも講師を派遣していただき、「草木染め」「陶芸」「書道」「すげりすつくり」などを行いました。また、恒例行事として、音楽部と連携したデイサービスセンター「ほっとす」の訪問も行っています。これからも地域と共に成長していく北斗中学校を目指し活動していきます。



市内全ての小中学校で「家庭生活宣言」を！～千歳市PTA連合会の取組～

千歳市PTA連合会では、平成27年に子どもたちが規則正しい生活習慣を身に付けられるよう家庭生活ルールと家庭生活目標を定めた「千歳市家庭生活宣言」を作成しました。

この取組には特効薬がなく、地道に継続して活動していく必要があるため、教育委員会や町内会連合会とも連携し平成28年9月に「千歳市家庭生活宣言推進委員会」を設立し、活動内容を検討しています。

この推進委員会では、市内全てのPTAが共通理解のもと連携してこの取組を広めていくために、各小中学校PTAでの「○○○学校家庭生活宣言」を目指し、メンバーがキャラバン隊を結成して全小中学校を訪問しています。



キャラバン隊による青葉中訪問の様子

とびっくす

いじめシンポジウムを開催しました!

11月26日(土)、北ガス文化ホールで「なかよしさわやかDAYいじめシンポジウム」を開催し、市内小中学生・保護者・教員など約400人が参加しました。

基調講演では、横浜高校野球部元監督の渡辺元智氏から、「言葉が争いを生むので、大人は子供が納得できる言葉を使って自分の気持ちをしっかりと伝えることが大切」など、指導経験を通じて得た教訓をお話いただきました。

その後、日の出小・桜木小・千歳中・向陽台中の児童生徒、青葉中の教員・市P連代表の方から提言発表があり、「いじめ防止のため何ができるかを自分たちで考えたい」などの意見が出されました。



提言発表の様子

姉妹都市アンカレジ市のミアーズ中学校を訪問しました!

市内中学生20名と引率者4名で結成された訪問団が、1月7日から14日までの日程で姉妹都市であるアンカレジ市のミアーズ中学校を訪ね、交流してきました。

この事業は、アンカレジ市との相互交流を通して、両市の中学生が文化や言語、歴史などを学び合い、友好の輪を広げることを目的としているもので、今回の訪問で4回目となります。今年の5月には、ミアーズ中学校の生徒が千歳市を来訪する予定です。



冬休みに千歳科学技術大学による学習サポート事業を実施しました!

教育委員会では、教員の作成した指導計画に基づき、学生ボランティアが長期休みの児童生徒への指導を補助する「学習サポート事業」を行っています。

子どもたちからは「大学生のお兄さんやお姉さんの教え方がわかりやすかった」、「わからない問題も聞きやすかった」などの感想が寄せられました。

・実施校 千歳小、北栄小、末広小、緑小、千歳第二小、日の出小、信濃小、祝梅小、向陽台小、泉沢小、千歳中、青葉中、富丘中、北斗中



学生ボランティアが教えている様子

ブックフェスティバルが開催されました!

11月29日(火)、千歳第二小学校においてブックフェスティバルが開催されました。

冒頭に教員、学校司書及び学校図書ボランティアの3名から、読んで面白いと思った本について3分間の発表があり、児童全員が「どの本が一番読みたいか」を投票するビブリオバトルが行われました。途中、北海道朝読・家読運動のイメージキャラクター「ぶっくん」も登場し、会場が盛り上がりました。

その後、北海道立図書館が提供する児童書2000冊、しかけ絵本80冊が体育館内に並べられ、児童たちは自由に本と触れ合いながら、興味を持った本を次々と手にとり、新たな本との出会いに興味津々な様子でした。



児童が本を探す様子

末広小学校 ～我が校の図書館～

末広小学校では、図書ボランティア「ポプケ」の皆さんが毎週木曜日に活動し、新しい本の紹介や図書整理などのお手伝いをしています。また、火曜日と木曜日には1～3年生の朝読み聞かせも行っていただいています。毎月の柳田校長先生の「読み聞かせライブ」、秋の読書強化週間で学年の先生が自分の学級以外での読み聞かせなど、さまざまな本に親しむ活動の工夫を行っています。



図書ボラさんの影絵読み聞かせ

東千歳中学校 ～わたしたちの単P活動～

5月25日、学校花壇の整備をしました。ほかに、生徒会で育てているカボチャの植え付けを手伝いました。収穫したカボチャは地域の秋祭りで販売し、その売上金を東南アジア5か国の子どもたちの中学就学を支援するダルニー奨学金などに寄附しています。



花壇の整備をした保護者

編集・発行 千歳市教育委員会(教育委員会庁舎2階 教育部 企画総務課)

■住所: 〒066-8686 千歳市東雲町2丁目34番地

■電話: 24-0819(直通)

■FAX: 27-3743

■e-mail: kyoikukikaku@city.chitose.hokkaido.jp

■URL: http://www.city.chitose.hokkaido.jp/